

オーディオ実験室収載

古楽盤を聴く(2)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(2)—

1. 始めに

LINN LP-12 の再構成(35)およびThorensTD124 の再構成(1)で報告しましたようにこれらのアナログシステムの大幅な変更を行い、バッハ、テレマン、ヘンデル、ヴィヴァルディ、ハイドン、古典派のアナログ盤を聴き直してきました。今回も、時代をさかのぼって古楽盤を聴いてみることにしました。

2. 古典派のアナログ盤の試聴方法

試聴システムは、LINN LP-12 の再構成(35)および ThorensTD124 の再構成(1)で報告したとおりであり、古楽のアナログ盤をレーベル毎、録音年代毎に整理して、LINN LP-12 と ThorensTD124 のいずれか、または両方で聴いていきます。その後、さらにアンチスタティックの効果(1)とアンチスタティックの効果(2)で報告したようにレコードアンティスタティックも加わり、今回も、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットしています。また、今回も **Magic Mat II** の導入(2)で報告した **Magic Mat II** を使用しています。

さらに ZANDEN Model 120 の仮想アースが、Crystal E から Crystal E-G に代わっています。

今回は、次の古楽盤を聴いていきます

ARCHIV MA5140

アントワーヌ・ビュノワ ミサ曲「ロム・アルメ」
ジル・バンショワ モテットス「創り主なる聖靈よ來たり給え」
モテットス「栄光と賛美と誉とは」
モテットス「ビソップも我にそそぎ給え」
ミサ曲断片「アニュスディ」
ブルーノ・ターナー指揮プロ・アンティオーネ・アンティクワ

ARCHIV MA5071

クリストラル・デ・モラリス マニフィカト
モテットス「よりよく生活のうちに」
モテットス「キリストのしもべアンドレア」
モテットス「すべての国々よ、主に向かいて
歓呼せよ」
モテットス「ヤコブは嘆きぬ」

モテットス「羊飼い達よ騙れ」
ブルーノ・ターナー指揮プロ・アンティオーネ・アンティクワ
ロンドン古楽コンソート

3. 古楽のアナログ盤の試聴結果

ARCHIV MA5071 盤は、TELDEC、R、第4時定数 Mid で聴いていきましたが、違和感はありません。

プロ・アンティオーネ・アンティクワは、カウンターテノール、テノール、バスの歌唱とオルガンおよびサックパットの伴奏から構成されていますが、サックパットというものはどのような楽器か分かりません。

ビュノワは没年が 1492 年で、バンショワは没年が 1460 年ですので、前報(1)のアルス・ノヴァ (1320 増~1400) に続く時代の音楽で、前報(1)のアルス・ノヴァの曲とよく似ていますが、さらに抑揚がついて構成が複雑になっています。

ARCHIV MA5140 盤は、TELDEC、R、第4時定数 Mid で聴いていきましたが、違和感はありません。演奏は、プロ・アンティオーネ・アンティクワにロンドン古楽コンソートが加わっています。プロ・アンティオーネ・アンティクワの編成が大きくなり、ロンドン古楽コンソートの楽器は、ツィンク、ボザウネ、ポマーなど正体が分からぬものです。モラレスは没年が 1553 年ですので、バンショワよりさらに時代が下った音楽で、和声の響きなどは前期バロックの音楽に近づいています。

以上は、ともに歌唱は明晰で、よくハモリ、古楽器類がアクセントを加えています。

4. まとめ

LINN LP-12 の再構成(35)とアンチスタティックの効果(1)とレコードアンティスター・テイックやスピーカーアキュライザーの Crstal EpY-G と Crstal E-G や Magic Mat II の結果をトレースでき、1400 年から 1500 年代の音楽の状況が把握でき、レベルのイコライザー特性が特定できました。

以上